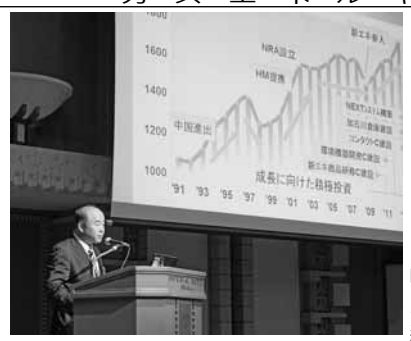
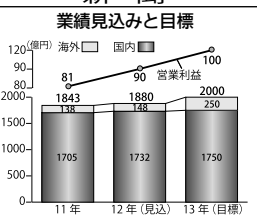
／【K：】Server／2552（2月4日新台紙）／5面（新技術・新製品）／5面 2013.02.18 17.55.17 Page 1 Black

ノーリツ
売上高2000億円へ
M&Aから海外事業拡大

ノーリツ（國井総一郎社長）は1月29日、帝国ホテル大阪（大阪市北区）で「2013年方針発表会」を開催し、都市ガス・LPガス事業者ら89社から140人が参加した。國井社長は、13年に売上高2000億円、営業利益100億円を目指す目標を示した。「国内外で成長を目指す。売上高5%成長と営業利益率5%を確保したい」と意欲を語った。

12年12月期決算は2月12日発表予定だが、現時点で、売上高1880億円、営業利益90億円を見込んでいる。


事業展開の方針を説明する國井社長



13年は、国内の住宅着工件数やリフォーム件数が堅調に推移するとの見通しから、「国内事業の売上高1750億円は確実」（國井社長）とした。海外事業は売上高7割増の250億円を目指す。

同社初の本格的海外M&Aとなる櫻花衛厨（本社・江蘇省）の株式取得についても説明。櫻花衛厨は、中国でガス給湯器やコンロなど住宅設備機器を生産・販売している。子会社化することで、海外事業拡大に弾みを付ける狙い。中国当局による独禁法審査の手続きを経て、今年末にも認可される見通し。

続いて澤本宏明西日本支社長が、同支社の売上目標や基本方針を発表した。①省エネ・創エネ・節電商品の提案強化、②教育カリキュラムの充実など得意先への販売支援強化、③商品・施工研修の実施など市場品質の向上―によって売上高8%増を目指す。分野別では、温水空調を6%増、厨房と住設を10%増、新エネを50%増とする。

同支社の暖房給湯タイプのエコジョーズ比率を前年比10%増の41%とする一方、創エネ商品（太陽光・熱）のプロモーション活動を強化する方針だ。

都心、ICT（情報通信技術）を活用してエリア全体の省エネを図る田町駅東口北地区や磯子プロジェクト、3電池を最適制御する大阪ガスのスマートエネルギーハウスなどを紹介。実証結果を報告するプレゼンテーションも行い、来場者の関心を集めた。

三浦工業は、廃熱を有効活用して大きな省エネを実現する蒸気駆動エアコンプレッサーや、開発中の固体酸化物形燃料電池（SOFC）などを展示した。SOFCは業務用の5kW機で、2015年度の発売を目指している。JFEエンジニアリングは、地熱バイナリー発電などの環境技術を展示した。

今回の特徴的展示としては「エネマネゾーン」が設けられた。資源エネルギー庁はエネマネのロゴを使い、パネル展示やテーマシアターでエネマネの考え方を分かりやすく紹介したほか、導入支援相談コーナーも設けた。

テーマは「エネマネ」
東京でENEX2013

「ENEX2013」第37回地球環境とエネルギーの調和展」（省エネルギーセンター主催）が1月30日～2月1日、東京・有明の東京ビッグサイトで開催された。今回のテーマは「エネマネ」で変わるこれからの省エネ」。エネルギーマネジメントシステム（エネマネ）を活用してエネルギーを賢く使い、家庭やビル、工場等で一層の省エネを図る技術が数多く展示された。日本ガス協会、東京ガス、大阪ガスは共同でブース出展。スマートエネルギーネットワーク（スマエネ）を前面に打ち出し、熱と電気を地域単位で賢く使うことでエネルギーの有効活用が図れることをPRした。

開会式には日本ガス協会の蟹沢俊行専務理事（右から2人目）も出席

具体的事例としては、熱と電気の相互融通を行う千住スマエネや新宿副都心、ICT（情報通信技術）を活用してエリア全体の省エネを図る田町駅東口北地区や磯子プロジェクト、3電池を最適制御する大阪ガスのスマートエネルギーハウスなどを紹介。実証結果を報告するプレゼンテーションも行い、来場者の関心を集めた。

「スマエネ」のプレゼンテーションが関心を集めた

三浦工業は、廃熱を有効活用して大きな省エネを実現する蒸気駆動エアコンプレッサーや、開発中の固体酸化物形燃料電池（SOFC）などを展示した。SOFCは業務用の5kW機で、2015年度の発売を目指している。JFEエンジニアリングは、地熱バイナリー発電などの環境技術を展示した。

今回の特徴的展示としては「エネマネゾーン」が設けられた。資源エネルギー庁はエネマネのロゴを使い、パネル展示やテーマシアターでエネマネの考え方を分かりやすく紹介したほか、導入支援相談コーナーも設けた。

ガス事業者3社
QRコードで管理
メーター表記シールを標準化

ガスメーターの入出庫管理などを効率的に行うためのQRコード付きシールの共同研究をしてきた静岡ガス（戸野谷宏社長）、広島ガス（田村興造社長）、日本海ガス（新田八朗社長）の3社は、このほどシールの仕様や保有情報を統一し、標準化した。日本海ガスは1月、地元メーターメーカーと協力し、シールを貼付したメーターを富山市内の需要家に設置した。

従来のガスメーターは、型式や製造番号などの情報をアルミ銘板やスタンプを印字したシールで表示していた。メーターの基準適合証印もシールで貼り付けていた。

メーターに関する情報について、各社独自の表示方法をとっていたが、QRコード付きシールで統一することで、情報の読み取りが容易になり、管理しやすくなる。

3社は、日本ガス協会の「地方都市ガス事業者向け技術開発支援制度」を活用。同協会のほか、愛知時計電機（鈴木登社長）、アズビル金門（下田貴一郎社長）らと協力し、すでにQRコード付きシールを採用している東京ガスや東邦ガスの意見を参考にしながら、QRコード付きシールのデザインや仕様、保有情報の標準化を図った。

メーター交換時に専用リーダーでQRコードを読み込むことで、①ガス事業者とメーカーの双方にとって入出庫管理がしやすい、②ガス事業者はメーター情報を適切に基幹システムへ入力できる、③メーカーは回収メーターの廃品台数の把握が容易になる―といったメリットがある。

日本海ガスは、地元の東洋ガスメーター（富山県射水市、水越靖社長）のシール対応型メーターの生産体制が整ったことから、活用を開始。日本海ガスでは、シールを先行採用し、今年9月に新しい基幹システムを稼働させた後、QRコードを活用したメーター管理システムを早ければ2015年にも開始する方針で検討を進めている。

広島ガスは、4月からシール採用を開始し、13年度中にはQRコードを使用したメーター管理システムの本稼働を開始する見通し。静岡ガスもシールと管理システムの導入開始に向けて検討を進めている。

標準化したシールを活用することで、「将来的にメーター管理のコスト低減が期待できる」（日本海ガス）としている。

QRコード付きシール

シールを貼ったガスメーター

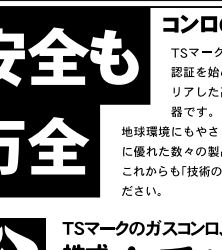
HKSプレミアムディ
CNGレーシングカー展示

自動車部品メーカーのエッチ・ケー・エス（HKS、長谷川浩之社長）は1月27日、静岡県の富士スピードウェイで「プレミアムディ2013」を開催した。同社創立40周年記念のイベントで、モータースポーツ部品など51社が出展。チューニングカーの試乗やサーキットの走行会なども行われ、5200人が来場し、盛況を博した。

同社は10年前から天然ガス自動車の開発を行っており、展示ブースでは天然ガス自動車のラインアップも紹介した。大型天然ガストラック（25tのほか、「バイフューエルNV350」、「バイフューエルランサーエボリューション」など5台を出展。屋内の製品展示会場では大型トラック用CNGエンジンやバイフューエルシステムの紹介を行った。

関心を集めたランサーエボリューション

来場者の注目を集めたのは、「当日朝に仕上がった」というバイフューエルランサーエボリューション。サーキット走行用に作られた天然ガス仕様のレーシングカーで、同社は「これだけ高出力の天然ガス自動車は未知の領域。今後データを収集し、天然ガス自動車の開発に生かしていきたい」と話していた。


ランサーエボリューションに搭載したCNG容器

ハーマン商品企画推進部
川﨑 枝里さん

ノーリツ（國井総一郎社長）のグループ会社ハーマン（永橋啓一社長）と大阪ガスが共同開発し、昨年4月に発売した最高級ビルトインコンロ「S-Blink ADVANCE」（アドバンス）の新機能に「麺ゆでモード」がある。細かな火力調整や差し水など麺ゆでは面倒なことが多いが、この機能を使えば、自動的に火力調整をして、吹きこぼれを防いでくれる。

この機能の開発に奮闘した若い女性社員がいた。大阪市立大学大学院で微生物学を専攻し、2011年春に入社した川﨑枝里さんだ。

彼女が配属された商品開発部要素開発室は「アドバンス」の機能開発を行っていた。彼女の加入でメンバーは13人。川﨑さんを含む3人が麺ゆで機能を担当した。実は、麺をゆでる際にお湯が吹きこぼれ、掃除が面倒という消費者の声に応えるためハーマンと大阪ガスは日本で初めて麺ゆで機能を最高機種に搭載することを決めていたのだ。

開発作業は、実際に麺をゆで、どういう条件なら吹きこぼれないかを調べる方法で行った。麺はうどん、そば、パスタなど約30種類。鍋も素材、大きさを替え実施。それぞれ、麺と水の量を変えながら行った。

ケースごとの吹きこぼれが起こる時間を測定した。その結果、設定時間（麺の適正なゆで時間）終了後2～3分間は吹きこぼれを起こさない、絶妙な火加減を見つけた。

130kgの麺をゆでる
「吹きこぼれ」防ぐコンロ開発

川﨑さんたちがストップウオッチと温度計を手に、予測・実測を繰り返しながら、答えを見つけるのに要した期間は約半年。ゆでた麺は130kgに上った。

実際の商品は、鍋底のセンサーで温度を検知し、マイコンで火加減を調整する仕組みだ。

川﨑さんは当時を振り返る。

「実測はほぼ1人で担当した。1日中、調理実験室にこもっていると『自分は何しているんだろう』と不安になった。実験室は、風の影響を避けるため、空調をつけることもできず、夏場はもうろうとした」

落ち込んだ川﨑さんは、6歳年上の先輩の藤井拓さんの一言に勇気づけられた。「君は作業者じゃない。予測を実証する開発者なんだ。終わるまで俺が見てやる」と言ってくれたという。開発期間中は、自宅のコンロで麺をゆでる時も吹きこぼれるまで観察していた。

「完成が見えた時はうれしい半面、本当にこれでいいのか、もっといいゴールがあるのではないかと不安になった。コンロは奥が深い」と語る。

趣味は旅行と英語の勉強。昨年はオランダなど3カ国を9日間、1人で旅した。

川﨑さんは今年1月、商品企画推進部に異動になった。

「今度はこんな機能があったらいいなと発案する仕事。新しい職場でも頑張りたい」と語った。（宮下 夕佳）

大型CNG車導入
関東地域では初の実走行
埼玉県トラック協会

埼玉県トラック協会（横塚正秋会長）と運送4社は1月30日、圧縮天然ガス（CNG）を燃料とする大型トラック（25t車）5台を導入すると発表した。CNGの大型トラックの実走行は関東地域では初めて。同協会と4社はすでに昨年12月から小型CNGトラック（2t車）3台を導入しており、合計8台のCNGトラックを使って導入効果を検証する。

淡路共正陸運（大型3台）、柏センコー運輸（大型1台）、コアラコールドサービス（小型3台）、首都圏ロジスティクス（大型1台）の4社と同協会は、経済産業省の「低炭素型自動車交通推進事業」に採択された。配送用トラックの運行をディーゼル車からCNG車に転換し、走行距離に対するガス消費量や二酸化炭素排出量削減効果などを検証する。

大型トラックは、車種によって鋼製CNGボンベ8～9本、計572ℓ（114㎥）～817ℓ（163㎥）を搭載。1回の充填で約500～600㎞の都市間輸送が可能だ。燃料充填口は車両の両側にあり、いずれの充填口からも各ボンベへ充填できる。

同協会はCNG車の普及を図るため、2006年7月に大宮トラックステーション（さいたま市西区）内にガソリンスタンド併設のCNGスタンドを開設している。大型トラックの実走行の開始にあたり、同ステーションのCNGスタンドを増強した。高速ディスペンサーを1基追加して2基とし、たほか、ステーションの屋上に設置してある蓄ガスタンク（450ℓ）を4本から8本へと増やし、円滑な充填のための設備を整えた。

30日は、国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局長や埼玉県環境部大気環境課長らを招き、同トラックステーションで、CNGスタンド増設披露と大型トラックの出発式を行った。横塚会長は、「これからのエネルギーの中でCNGの重要性はますます増していく。今後少しでも環境に優しいトラック輸送を実現していきたい」とあいさつした。

CNG燃料の大型トラック

高速ディスペンサーを1基追加

安全も万全
コンロのタチバナだからこそ
TSマークのガスコンロは、JIA認証を始めとする安全基準をクリアした高品質の美務用ガス機器です。またPS認定を受け、地球環境にもやさしく、機能性・安全性に優れた数々の製品をお届けしています。これからも「技術のタチバナ」をご利用ください。
PS TG 都市ガス機器用
JIA認証
TSマークのガスコンロ、ガス器具製造販売
株式会社 タチバナ製作所
〒511-0212 三重県いなべ市員弁町平古262 TEL(0594)74-5080(代) FAX(0594)74-5078
URL:http://www.e-tachibana.co.jp
E-mail:info@e-tachibana.co.jp
カタログご希望の方 お気軽にご請求ください。

都市の快適さを思考する。
様々な技術革新が進むなかで、未来に向かって進化し続ける都市。そこにはスケール的、機能的な進化ばかりではなく、さらに質の高いデザイン、うるおいを感じさせる物づくりを通じた人間優先の空間を提案・創造していくという、企業のポジショニングが要求されています。当社のツリーモールそしてカラーストリーマーは、各都市で進められている環境整備事業における「快適都市空間の創造」というテーマに取り組み、都市環境との調和を目的として企画・開発された製品です。

グラウンド マンホールとしての十分な基本性能に、デザイン性を付加したカラーストリーマー。カラー舗道や周辺環境と美しく調和します。

樹木をやさしく保護するツリーモール。豊富な種類とバリエーションで街と緑を美しく引き立てます。
日之出水道機器株式会社
本社 福岡市博多区堅粕5丁目8番18号（ヒノデビルディング） TEL(092)476-0777
東京本社 東京都港区赤坂3丁目10番6号（ヒノデビル） TEL(03)3585-0418

ホルソー施工可能な
床用フレキガスコンセント
G855AC5-07D（床丸穴タイプ）
フレキ直接続 8A・10A
施工時間が短縮できます！

特長
●ホルソーφ60丸穴で施工可能なので施工時間短縮
●高さ寸法を抑えて戸建に加え一般的集合住宅にも設置可能
●化粧プレートのフタ開けボタンは突起のないスライド式
●化粧プレートの中心とホルソー丸穴の中心が同一
●隙間風対策実施済み
※LPG用もあります。
安全・快適・信頼 光陽産業
http://www.koyosangyo.co.jp/
ISO 9001 JIS Q 9001 JAB CM004 ▲当社はガス栓でISO9001:2008の認証を取得しています。
ISO 14001 JIS Q 14001 JAB CM004 ▲本社並びに工場のサイトでISO14001:2004の認証を取得しています。
KSK 光陽産業株式会社
受注センター TEL.025(523)2291 FAX.025(523)2295
東京営業所 〒142-0042 東京都品川区豊町4丁目20番14号 TEL.03(5702)1221(代) FAX.03(5702)1370
新潟営業所 TEL.025(522)2181(代) 西日本営業所 TEL.092(472)9411(代)
大阪営業所 TEL.06(6952)0631(代) 札幌出張所 TEL.011(856)7131(代)